

2025/07/11 (予定) 機能追加

仕訳伝票を複写した際に、複写元の仕訳伝票と異なる日付で複写したい 他 4 件

Ver.250630

取引入力

仕訳伝票を複写した際に、複写元の仕訳伝票と異なる日付で複写したい

仕訳伝票を複写すると、今までは、複写元の仕訳伝票の伝票日付が初期表示されていましたが、最終伝票日付やシステム日付も初期表示できるようになりました。

各メニューで[F3: 設定]を押して、[設定]画面の[運用]ページの伝票初期日付で「複写時にも反映する」にチェックを付けると、最終伝票日付やシステム日付が初期表示され、そのまま起票できます。

対応メニュー

仕訳伝票を起票するすべてのメニュー

摘要入力欄に、代入項目を直接入力したい

[代入項目検索]画面を表示せずに、代入項目を入力できるようになりました。

摘要入力欄に「@」を入力し、その後ろに「代入キー」を入力すると、代入項目の候補が表示されます。

補足

「@」を含む摘要が登録されている場合、摘要入力欄に「@」を入力すると、摘要→代入項目の順に候補が表示されます。

代入項目を直接入力する場合は、「@」の後ろにそのまま「代入キー」を入力してください。

対応メニュー

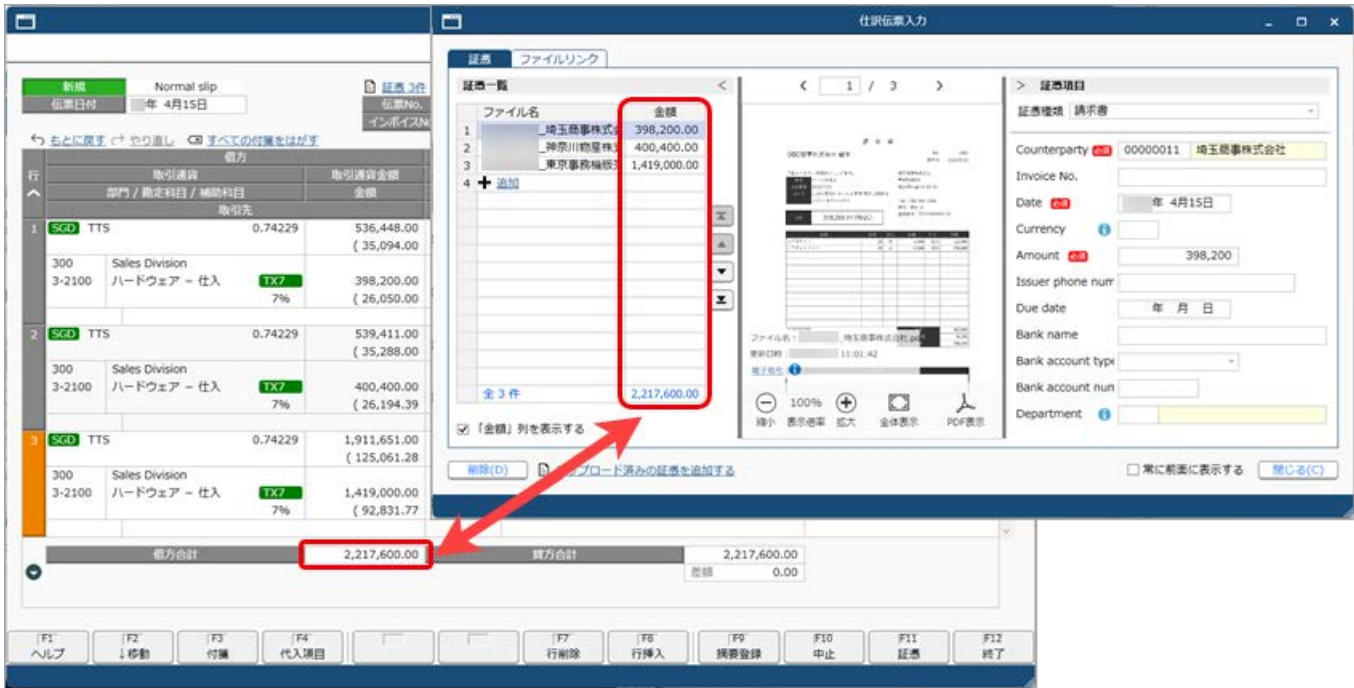
仕訳伝票を起票するすべてのメニュー

[財務会計 - 取引入力 - 取引入力補助 - 定型仕訳伝票] メニュー

証憑

仕訳伝票の合計金額と、添付した証憑の合計金額を突合したい

証憑を参照したり、証憑項目を入力できる画面上に、証憑ごとの金額や合計金額が表示されるようになりました。
「金額」列を表示する」にチェックを付けると表示されます。
仕訳伝票の合計金額と証憑の合計金額を突合することで、証憑の添付漏れや金額の入力間違いを防げます。



対応メニュー

- 証憑項目を入力できるすべてのメニュー
- 証憑を参照できるすべてのメニュー

会計帳票

前月や当月の元帳で、振戻仕訳・整理仕訳を集計したい

集計期間で「前月」や「当月」を選択した場合も、[仕訳伝票] ページで「振戻仕訳・整理仕訳を集計しない」のチェックを外せるようになりました。
前月や当月の元帳でも、振戻仕訳・整理仕訳を集計できるようになります。

対応メニュー

- [財務会計 - 会計帳票 - 元帳] メニュー

その他

セキュリティ強化

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。